外注化阻止ニュース 第７７３号

〔発行日〕２０２６年４月８日
〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28

ＪＲの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

機能保全外注化強行弾劾！

京葉車両センター前でストアピール　〝事故の一因に外注化がある〟

動労千葉は４月１日、26反戦春闘・３月ダイ改阻止の第３波闘争としてストにたちました。京葉車両センター前行動での発言を紹介します。

■動労千葉・渡辺書記長

本日、京葉車両センターの機能保全外注化に反対して集まっています。ＪＲは２０００年以降、様々な鉄道業務を外注化してきました。我々は一貫してこれに反対し続けています。昨今、ＪＲ東日本で事故が相次いでおり、その一因に外注化があると断言できます。

仕業・構内業務も12年に外注化され、今回京葉車両センターの武蔵野線運用車両も外注化されます。断じて許せません。外注化ではなく直営化を改めて訴えたい。

ＣＴＳで働くプロパー社員も本来ならＪＲで雇われるべき存在です。低賃金・労働条件の悪い環境で働かされています。本来、あなた方はＪＲで雇用され、鉄道業務を担うべきです。まずここを訴えたい。

本日から新しい人事・賃金制度、セカンドキャリアスタッフ制度が開始されます。外注化がなければ定年延長も可能で、こうした問題は起きません。外注化は管理者のポスト作りが目的であることも明らかです。

２月10日、喜勢社長が記者会見しましたが、その前の経営幹部会議では外注化スキームの破綻も指摘されています。我々は、採用した社員を出向させグループ会社を回すだけではない、本来の在り方を声を上げたい。

本日、機能保全業務の外注化が実施されますが、撤回を訴え、闘い続ける必要があります。今日のストライキを貫徹したいと思います。

〝職場を奪われる前にみんなで声を〟

■動労千葉幕張支部・北嶋支部長

京葉車両センターで働く仲間の皆さん、今こそ決起する時です。このままでは仕事はおろか、職場まで奪われてしまいます。みんなで声を上げれば、変えられるんです。止められるんです。

なぜ失敗だった外注化を進めると思いますか？　それは責任逃れです。社長は責任逃れをしています。グループ会社に全ての責任を押し付け、自分たちはもう鉄道を捨てると言っているのです。こんなこと、許せるはずがありません。みんなで声を上げましょう。

仲間の皆さん、私たちはいつでも迎える体制です。いつでも来てください。一緒に闘おう。